MARCEL FRATZSCHER

Germany's leading economist

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Business
- Economics
- Finance
- Management

Marcel Fratzscherは、最も影響力のあるドイツの経済学者の一人です。彼はヨーロッパでも有数の研究機関でありシンクタンクの一つであるDIWベルリン（ドイツ経済研究所）の会長です。彼はまた、フンボルト大学ベルリンのマクロ経済学と財務の教授であり、ドイツ経済省の諮問委員会のメンバーです。

彼のこれまでの職歴には、欧州中央銀行（ECB）の国際政策分析部長としての仕事が含まれています。彼は、世界のシステミックな経済的経済的問題、新興経済国、そして国際通貨システムに関連する問題に関するECB政策ポジションの準備を担当しました。

2000年からワシントンDCのピーターソン国際経済研究所の客員研究員でした。1996 - 98年のアジア金融危機の前と最中に、彼はハーバード国際開発研究所（HIID）の財務省でマクロ経済政策アナリストとしてインドネシアで働いていました。彼はまた、ケニアのMwaniki Associates（フィリピンのAsian Development Bank）そして米国のWorld Bankで働いていました。

Fratzscherの研究は、マクロ経済学、国際金融、貨幣経済学および国際政策協調の分野における幅広い問題を網羅しています。彼の最近の焦点はヨーロッパの危機、金融の安定性と資本管理、危機の世界的な伝達メカニズム、そしてヨーロッパと国際的な通貨システムの改革です。

2007年には、世界的な金融の連携と金融政策に関する研究に対して、キール研究所優秀賞を受賞しました。

Fratzscherは、世界中のオーディエンスを選択するために、財務、危機管理、経済、ヨーロッパについて知識豊富に話しています。彼は、2012年に欧州中央銀行で「ユーロ圏ソブリン債務危機と国際通貨システム」に関するECB円卓会議ワークショップを含むいくつかの会議を開催しました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988